

「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」

【主催】: 一般社団法人日本写真測量学会、一般社団法人日本リモートセンシング学会

【共催】: 一般社団法人地理情報システム学会

【開催日時】: 2023 年 11 月 1 日(水)～12 月 10 日(日) G 空間 EXPO 公式 HP でオンデマンド配信 (測量CPD対象)

上記の期間、G 空間 EXPO2023 公式 HP <https://www.g-expo.jp/> の「講演・シンポジウムページ」にて講演動画をご視聴いただけます。プログラムは、下記のとおりです。ご視聴後は是非、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

また、本シンポジウムは、測量 CPD ポイント(2 ポイント)の対象となります。動画の全視聴 および アンケートのご提出の両方をもって、ポイントの申請を行うことができます。アンケート用紙、および CPD の申請方法は [こちら](#) をご覧ください。

【趣旨】

2022 年 10 月のイプシロンロケット打ち上げ失敗、2023 年 3 月の H3 ロケット試験機 1 号機の打ち上げ失敗と先進光学衛星「だいち 3 号」(ALOS-3)の喪失など、我が国のロケット開発と地球観測は今、試練の時を迎えている。

このような中、2023 年 6 月 13 日に新しい宇宙基本計画が閣議決定され、同日、工程表が宇宙開発戦略本部において決定されている。その中で、前述の打ち上げ失敗と ALOS-3 喪失も踏まえた基幹地球観測衛星の計画見直しが示されている。

また、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」では、新しい地球観測ミッション提案の試行公募(第三回)が行なわれている。

さらに、2022 年 9 月に設立された衛星地球観測コンソーシアム(Consortium for Satellite Earth Observation; CONSEO)では、2023 年 3 月に提言「衛星地球観測の全体戦略に関する考え方」、2023 年 6 月に光学・SAR 観測 WG において ALOS-3 喪失も受けた次期光学ミッションの具体的なミッションコンセプト提案がまとめられている。

このような動向も受け、本シンポジウムでは、「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」をテーマに、主に基幹地球観測衛星を中心としたこれまでの経緯と現時点での将来計画、これらを後押しする技術開発やコミュニティ等の関連活動に関する理解を深め、将来を展望する機会としたい。

【プログラム】

	講演タイトル	講演者	時間
0	開会のご挨拶	赤松 幸生 一般社団法人日本写真測量学会 副会長	5 分 10 秒
1	地球観測グランドデザイン	本多 嘉明 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 准教授	12 分 40 秒
2	次期光学ミッションの方向性について	竹上 直也 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 企画官	17 分 31 秒
キーワード①			
3	JAXA GCOM ミッションの成果と将来	高橋 暢宏 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授	9 分 25 秒
4	GPM(全球降水観測計画)から AOS PMM (大気観測システム 降水レーダ衛星)へ	高藪 縁 東京大学 大気海洋研究所 教授/JAXA GPM Project Scientist	8 分 57 秒
キーワード②			
5	GOSAT シリーズについて ～宇宙からの温室効果ガスの長期観測～	松永 恒雄 国立環境研究所 衛星観測センター長	16 分 01 秒
6	ひまわり後継衛星計画について	安藤 昭芳 気象庁 気象衛星課 情報通信システム班長	9 分 46 秒
キーワード③			
7	将来に向けた衛星観測技術開発	木村 俊義 宇宙航空研究開発機構 センサ研究グループ長	12 分 05 秒
8	衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO)の活動	松尾 尚子 CONSEO 事務局/JAXA 衛星利用運用センター技術領域主幹	17 分 25 秒

(合計)約 1 時間 49 分 46 秒

※キーワード表示時間含む

以上